

病理診断のすべて

適切な治療を行うためには、適切な診断が必要です。「病理診断」は最終診断として大きな役割を果たしています。難しい病気の際は、各種検査結果・病理診断結果などを主治医とともに検討し、より精度の高い診断・治療に取り組んでいます。今回、病理診断の概要から実際の病理診断業務について、また、ICT(情報通信技術)を活用した遠隔病理診断について各専門スタッフが解説します。

－ プログラム －

■ イントロダクション 「病理診断とは」

成人病センター 病理診断科(兼病理部) 部長 武内 英二

■ 病理診断業務の実際

「細胞診断の実際～スクリーニングから診断まで～」

成人病センター 病理部 主任主査 西村 みゆき

「組織診断のすべて～生検と手術検体～」

成人病センター 病理診断科(兼病理部) 部長 武内 英二

「病理検体(細胞診、組織診)の受付から標本作製まで」

成人病センター 病理部 主査 稲葉 洋美

「病理解剖からCPC(臨床病理検討会)まで」

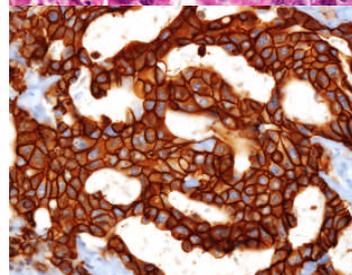
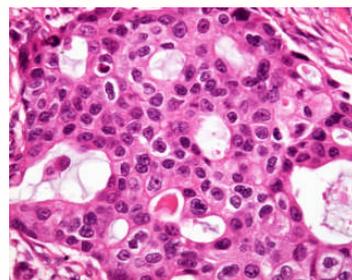
「病理検体を使ったその他の検査について

～遺伝子診断、分子標的治療との関連など～

成人病センター 病理診断科(兼病理部) 医長 寺島 剛

■ 遠隔病理診断ネットワーク 「遠隔病理診断とは」

成人病センター 病理診断科 副医長 伊藤 良太



2012年 **12月20日(木)** **18:00～19:30**

- 会場：滋賀県立成人病センター 研究所講堂
【住所】守山市守山5-4-30
【交通】JR守山駅からバス約10分
- 対象者：医療従事者・医療関係者
- 定員：150名(当日先着順)
- 申込不要・参加費無料・駐車場無料(受付で無料化します)

【主催】滋賀県立成人病センター / 【共催】滋賀県薬剤師会

※今回のセミナーは、日本医師会生涯教育制度指定講習会(1.5単位)です。

